

21世紀に ことばの橋を架ける “交流詩”

周夜に

ほのかに まろき

早春の 月明かり

姿は 見えねど

あまねく ひかり降り

うす明るき

闇の冷たさ

その細くて 凛とした

絹糸のごとき

ひかりの雨

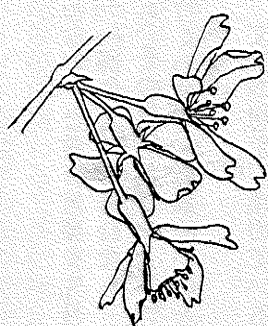
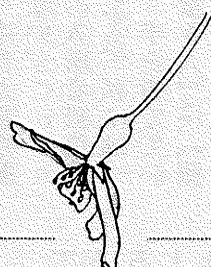
その光の中に

旅たちゆく女人に

“かぐや姫”と名づけた

いにしえ人ら

栗田 果奈穂



第三詩集『亜麻布』

ぼえむじゅく みしょうあん 御笑庵

一九九九年五月二〇日 出版より

話仙花出版

ことば道場 花輪楽版

毎月 月末 発行

(発行支援者を募集しています。一年間 一五〇〇円)
※グループで“ことば道場”を体験したい方は、

連絡をいただければ、出張いたします。

個別対談 五〇分 三〇〇〇円

(表記の電話・FAXにて、場所・日時の予約をして下さい。)

栗田 果奈穂

ことば道場 ことば編集人

詩人カウンセラー提唱人

ネイチャーカウンセリング提唱人

巡回『詩と写真展』 三十五回展 只今 準備中

サンフォルテ・フェスティバル 六月後半

ぼえむカード(詩と写真集) “観光とやま” “語らい”

私製はがき 8枚セット 五四〇円(税込み)

郵便振替 〇〇七七〇一六四四九七八 深山節代

※ふいつ、つと、異次元の空間に、連れ去られて、しまった

かのような、長野県の山岳救助のヘリ部隊。今生の装備を
みんな脱ぎ捨てるように、九人全員の、魂しいを連れ去ら
れて、しまつて、寂しさ、ひとしきり。

(穂)

A POINT OF HEART MAKES A LINE FROM PERSON ...

交流詩誌“話仙花”

はなせんか

ことば道場

花輪楽版

かわらばん

第一〇五号

二〇一七年 三月二十四日(金)

話仙花出版 発行

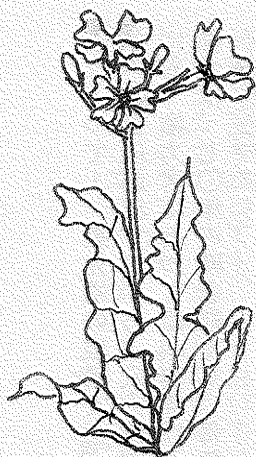
連絡先 九三九・八〇二三

富山市古寺新町四九五―二

県住 一棟四〇一室 深山方

☎F 〇七六・四二三・四九五七

信^{しん}頼^{らい}も回^{かい}復^{ふく}しこる
や^やり^りと^と言^い葉^はは
ほ



※ 40号を機会に、趣を変えてみました。